

# 売薬の意匠あれこれ

## 〈その14〉 スポーツデータブック & 歌詞集

北多摩薬剤師会会長 平井 有(ひらい・たもつ)

本連載では、これまでに「ぬり絵」「画帖」「学用品」「知育玩具」など、幼児から小学校低学年向けの薬の販促アイテムを紹介しましたが、今回はターゲットを小学校高学年以上に絞って、当時、人気のあったスポーツの“データブック”と大人も対象とした“歌詞集”などをご紹介します。

昭和時代と言われる昭和35年～45年頃(1960年代)は、子供たちを含めた庶民に人気のあった「巨人・大鵬・目玉焼き」が流行語となり、昭和39年(1964)に東京オリンピック、昭和45年(1970)に大阪万博が開催されました。昭和の終わりから平成の初めにかけてのバブル景気とは異なり、日本が戦後の復興期から高度経済成長期へと向かった時代でした。

スポーツの“データブック”は、上記流行語の「巨人」に代表される野球手帳と「大鵬」に代表される大相撲の相撲

手帳です。今は日本人選手がメジャーリーグで活躍し、多国籍の力士が土俵に上がるようになり、野球や相撲の世界も変わりました。スポーツの情報を得る手段も、ラジオやテレビ、新聞や雑誌などからインターネット上のメディアへと進化しました。

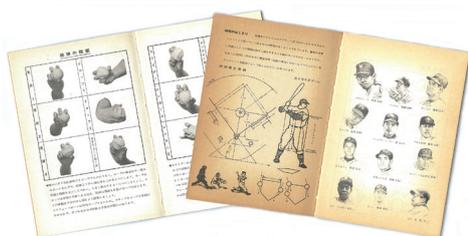
1970年代に登場したカラオケは、カラオケボックスの出現で80年代に急速に広まりましたが、1950～60年代には、アコーディオンやピアノなどの伴奏でお客全員が同じ歌を揃って唄う歌声喫茶が数多くありました。このように歌うことを楽しむ時に重宝がられたのが“歌詞集”です。

インターネットで音楽が配信される現代から見ると、これらのアイテムは、まさに昭和の大衆遺産であり、ひどく素朴な情報アイテムと言えそうですが、その内容は今でも一読に値するものだと思います。

### ■ 野球手帳 (武田薬品工業)

野球のはじまりやグラウンドのサイズ(野球競技場区画線)、人気選手の似顔絵、投球の種類もボールの握り方を写真で紹介。巻末には過去の優勝球団や最殊勲選手、最多勝利投手などの一覧、日米プロ野球大投手比較表などが掲載されている。

(縦150mm×横100mm、記入部分は横野)



### ■ 相撲手帳 (武田薬品工業)

表紙は、左が天皇賜杯を抱いた大鵬、中央は初代若乃花の横綱土俵入り。中面には、決まり手の紹介や人気力士の似顔絵、行司に関する解説など読み応え十分。

データも歴代横綱一覧、掲額優勝力士成績一覧、相撲部屋と有力力士表など充実している。  
(縦150mm×横100mm、記入部分は横野)



### ■ 歌詞集 (武田薬品工業、中外製薬)

「懐かしのメロディー」(黄)は、約280ページに歌謡曲、民謡、外国の歌、小唄、軍歌など、263曲が掲載されており、同(赤)もジャンルは同様で114曲が掲載されている。「民謡集」は自社製品のCMソングを巻頭に3曲載せている。  
(懐かしのメロディー(黄): 縦70mm×横100mm)  
(同(赤): 縦47mm×横80mm)  
(民謡集: 縦140mm×横73mm)



### ■ ミニノート (大塚製薬)

大塚製薬がスポンサーだった人気テレビドラマ(時代劇)「琴姫七変化」(昭和35～37年)と「噂の錦四郎」(昭和38～40年)が表紙のノート。琴姫を演じた松山容子氏は「ボンカレー」のパッケージでおなじみの女優。

(縦150mm×横100mm、記入部分は無地)

